

## 講師から皆さんへ

限られた時間ですが、肩の力を抜いて  
文学作品と向き合う時間を共有した  
と思います。



岩木山（弘前葛原から 2025年5月撮影）  
\*講師撮影写真



# 長部日出雄と

# 津軽の文学風土

## 【概要】

おさべひでお

長部日出雄は弘前市で生まれ、読売新聞社記者退職後、雑誌編集、映画評論・ルポライターを経て、作家となりました。1973年『津軽じよんから節』と『津軽世去れ節』により、第六十九回直木賞を受賞。その後、『鬼が来た一棟方志功伝』『桜桃とキリストもう一つの太宰治伝』と津軽を見つめ、2018年十月十八日、虚血性心不全のため亡くなりました。昨年引き続き、舞台となった津軽の風景を眺めながら作品の魅力を探っていきましょう。

文学者 長部日出雄(おさべひでお)の生涯を追うこと  
で見えてくる故郷の風景。長部氏が意識した津軽  
出身者の根底を成すもの、育ててくれた津軽の地を  
想い、同郷の表現者たちに想い馳せる心。そして生  
み出された小説や映画といった作品の数々。

青森津軽の景色が見えてくる……。

同出身者の講師武井昭也先生による、穏やか且つ  
渾身の心こもる講義の開講です。生涯学習センター

# 6/6(土)

🕒 開催時間  
10:30~12:00  
(受付手続き 10:00)

申込締切日 6/1(月)まで

講師：武井 昭也 (たけい あきや)  
(札幌国際大学人文学部国際教養学科教授)

1956年弘前生まれ。  
専門日本近代文学。文学、北海道の文化、認定絵本土講  
座、図書館司書課程担当。  
趣味料理蕎麦打ち、アウトドア、映画鑑賞。

参加対象：一般の方(高校生以上の方)

開講場所：本学教室

※開催場所等は締切日以降、メールにて通知します。

講座参加料：お一人 1,000円

定員：50名程度



URL または  
QRコードへアクセス  
してお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/ueQPjQmnFT>